



年 組 名前

# 道新でワークシート

## 卓上四季

ランドセルの広告をいくつか目にした。「なぜ、いまごろ」といぶかしく思っていたが、テレビニュースに教えられた。お盆で家族が帰省するのに合わせ、祖父母が孫に買い与えるそうだ。この時期は商戦のピークとか▼郵便局では、お年玉ならぬ「お盆玉」のぼち袋を販売していた。そういえば朝の地下鉄もすいていた。オフィス街もどこことなく人が少ない。「そうか、お盆だった」と、改めて実感する▼幼いころ、お盆の支度として、キュウリやナスに割り箸を刺して馬や牛を作った。先祖の魂が早く到着するよう、迎えるときにはキュウリの馬、帰るときはゆっくり見送れるようにナスの牛に乗るのだと、亡くなった祖母に教えられた▼16日は送り盆。きょうまでお盆休みという人も多いだろう。Uターンのピークはきのうだったが、各地の空港や駅ではきょうも、「じゃあ、また」「気をつけて」といった会話が交わされているに違いない。いつまでも見送っていた祖父母の思いとは裏腹に、飛行機や列車はあっという間に見えなくなってしまう。牛のようにはいかない▼息子家族を見送った老夫婦が「やっぱり寂しい」と、テレビのインタビュウで話していた。胸が痛む。古里を離れて30年以上。お盆に帰ろうとすらしらない自らの親不孝ぶりを顧みてだ▼「生れたるのみのふるさと盆の月」（大橋敦子）。来月の旧盆には帰ってみようか。

2017.8.16

2017年8月16日朝刊1面

① 筆者がお盆を改めて実感したものを選択肢から選びなさい。

- ア ランドセルの広告
- イ 「お盆玉」のぼち袋
- ウ 人の少ないオフィス街
- エ キュウリの馬

② この記事で使われている「胸が痛む」の意味として、最も適当なものを選択肢から選びなさい。

- ア ひどく心配する
- イ 寂しさを感じる
- ウ 懐かしく思う
- エ 良心がとがめる